

キャリア

勤労観

小学校高学年

中学校

高校

社会

家庭

総合

学級活動

プロフェッショナル 仕事の流儀  48分

苦労の数だけ、人生は実る 米農家 石井稔

(2010年放送)

この番組の良さ



米1kg1,500円

「駅弁マニアをうならせる話題の弁当がある。1日30食限定3,800円。その場で買える駅弁では日本一高い。贅を極めた品々の中で最も反響が寄せられるのは、実は白いご飯。噛むほどに旨味が溢れ出る。奇跡の米と呼ばれる。」…

この米を作っているのは石井稔さんです。稲とふれあい、語ります。その一粒一粒に愛が宿ります。

苦労の数だけ豊かに実る

40年以上前から米の有機栽培に取り組み、現代最高峰の米作りの匠と呼ばれる米農家の石井さん。

稲を甘やかさず、厳しくしつけながら、生命力あふれる米を生み出します。しかし、かつては作った米がほとんど売れず、借金地獄にあえいだこともありました。

未曾有の異常気象に立ち向かった格闘の日々を通して、農家の大変さや、米作りへの情熱を考えさせる番組となっています。

番組活用のポイント

米作りの秘密

縄文時代晩期から始まっていたとの説もある米作り。現代においても食味や保存性の良さから、全国で広く作られている作物です。

日本は世界最大の食料輸入国ですが、米の自給率は群を抜いて高い水準です。日本人の主食として長い期間大切にされてきた米は、私たちの生活に切っても切れないものです。

この番組では、1年を通した米作りの様子が出てきます。長い目で米の成長を見守るその姿から、食べ物大切さを学ぶことができます。

自然との戦い

農業に携わる人は年々減少をしています。国内生産される食料は、全人口のわずか1%の人によって支えられています。就業人口が減っている主な原因は、高齢化、後継者不足、安い農産物の輸入による収入減などがあげられます。

そして、農業は天候に左右され、労働時間も長く、作物を育てるのに必要な費用もかかることも、農業人口が減少する原因となっています。

しかし、水田をはじめとする農地は、食料を生産するだけでなく、生きものがすめる環境をつくり、洪水や土砂災害を防ぐという多面的な機能もあります。このまま農地が減り続けると、異常気象で災害の規模も大きくなりかねません。農地を守るということは、災害などから国土を守り、豊かな自然環境を保全することにもつながるのです。

今、食料不足は世界的に深刻な問題になっています。この番組を視聴することにより、農業や食料問題について考え、国内生産の大切さについて再認識することができます。そして、自然の中に身を置き、自然と向き合う姿から、日本の豊かな自然環境を次の世代に引き継ごうとする意識の涵養にもつながります。

学習展開例

対象校種：小学校 授業時間 90分
対象教科：5年社会



海陽町立海部小学校
教諭 溝内正剛

執筆

米作りは子育て 失敗を楽しむ

児童生徒の思考の流れと活動の流れ	教師の支援と評価
<p>稲作農家の方たちは、生産を高めるためにさまざまな工夫や苦勞をしながら、お米を作っている</p>	<p>○これまでに学習してきた稲作農家の仕事について振り返る場を設定する。</p>
<p> 番組視聴（開始～3分25秒） 駅弁マニアをうならせる、「1日30食限定3,800円」と、その場で買える駅弁としては日本一高い駅弁。最も反響が高いのは、1kg1,500円の石井さんのお米である</p>	<p>○単元の発展として、日本最高峰の米作り農家である石井さんについて知らせる。 ○開始から3分25秒後の主題曲の後、一時停止する。</p>
<p>そんなに評判がよくて、とても高く売れるなんてすごい！</p>	<p>○番組を見て驚いたことを聞く。</p>
<p>石井さんのお米がそんなに高く売れるのはなぜだろうか？</p>	<p>○番組を見て疑問に思ったことを聞き、学習問題を発見できるようにする。</p>
<p>手間をかけている 有機農法 おいしくて品質が良い</p>	<p>○石井さんのお米が1kg1,500円で売れる理由を予想し、ノートに書く場を設定する。</p>
<p>番組視聴（3分25秒～最後）</p> <p></p>	<p>○予想と比べながら番組を視聴し、高く売れる秘密を見つけた際にはメモを取るように助言する。</p>
<p>稲を甘やかさず、厳しくしつけながら、生命力あふれる米を生み出している</p> <p>40年以上前から有機栽培に取り組み、安全で美味しい米作りをしている</p> <p>借金地獄や異常気象に負けない情熱でがんばり、米作りの匠になった</p>	<p>○番組を視聴して見つけた「1kg1,500円で売れる理由」について話し合う場を設定する。 ○「型破りな栽培方法」「有機栽培」「石井さんの努力」の視点から、子供の意見を板書に整理する。</p>
<p>石井さんは、稲を甘やかさず厳しくしつけながら、生命力あふれる米を生み出したり、登熟する時期をずらしたり、40年以上前から有機栽培に取り組んだりするなど、さまざまな工夫をして、安全で美味しい米作りをしているからそんなに高く売れる。それを可能にしたのは、石井さんの「稲は人を見て育つ」「愛があるから厳しくできる」「畏れを忘れず、あきらめず」「信じる」「苦勞の数だけ、豊かに実る」といった、米作りにかかる情熱と信念だ。</p>	<p>○次の観点の意見を強調して取り上げる。 ・農法について ・目指す米について ・匠の技について ・有機農法の苦勞について ・石井さんの半生について</p>
<p>稲作以外の農家についても、調べてみたい！</p>	<p>【関心・意欲・態度】 稲作農家としての石井さんの情熱・工夫・努力を共感的にとらえ、農家の仕事について、興味・関心を高めることができたか。</p>

キャリア